

2016年11月4日(金)

11:30 開場・受付

12:00 開会／諸案内

司会進行：平山 祐

12:10 シンポジウム

座長：井上 正宏・永澤 秀子

12:10-13:00

酸素とイオンチャネル

森 泰生 京都大学大学院教授

13:00-13:50

活性イオウ産生酵素の発見：ミトコンドリア形態形成とエネルギー代謝の新しいメカニズム

赤池 孝章 東北大学大学院教授

14:00-14:50

小分子発光プローブを用いた細胞・組織内酸素センシング

飛田 成史 群馬大学大学院教授

14:50-15:40 シンポジウム

ガス状分子のケージド化合物による生体応答の光制御

中川 秀彦 名古屋市立大学大学院教授

15:40 coffee break

15:50 ポスターアピール

進行：辻 美恵子

No.	発表者	所属	演題
1	秋元 美穂	島根大学医学部生命科学講座	可溶性 ST2 は炎症性のがん微小環境の修飾を介して大腸がんの増殖および転移を抑制する
2	北島 正二郎	産業医科大学医学部生化学	アンモニアによる Hypoxia-Inducible Factors の新規活性化メカニズムとその意義
3	椿 卓也	東京工業大学生命理工学院	新規接着性ミエロイド細胞による腫瘍悪性化機構の機能解析
4	片岡 直也	東京工業大学生命理工学院	骨転移早期過程における前立腺がんと骨髄間質細胞の相互作用解析
5	米澤 早紀子	東京工業大学生命理工学院	骨肉腫細胞の肺転移における血管外浸潤過程を制御する分子機構の解析
6	靄野 雄介	佐賀大学大学院工学系 研究科先端融合工学専攻	MDA-MB-231 細胞は metabolic gradient 下で方向性に遊走する
7	松尾 禎之	関西医科大学	膜結合型酸化還元酵素 TMX1 のレドックス状態を指標とした小胞体ストレスのモニタリング
8	久保田 哲	大阪府立成人病センター研究所 生化学部門	子宮頸部小細胞がん・腺がん混合腫瘍由来スフェロイドにおける低酸素誘導性 Notch-ASCL1 シグナルによる分化の相互転換
9	梶野 リエ	愛知県がんセンター研究所	大腸がんマウスモデルとオルガノイド培養を用いた腫瘍形成における低酸素シグナルの役割の解明
10	坊農 秀雅	ライフサイエンス統合データベースセンター	公共遺伝子発現データベースのメタ解析による低酸素トランスクリプトーム
11	神谷 哲朗	岐阜薬科大学臨床薬剤学	SOD3 発現制御機構としてのジオキシゲナーゼ TET1 の関与
12	山下 年晴	筑波大学医学医療系	HIF-2 α 発現低下によって惹起される HIF-1 α 代償作用の解析
13	坂本 毅治	東京大学医科学研究所・人癌病因 遺伝子分野	Mint3 は線維芽細胞において L1CAM 発現を誘導することでインテグリン $\alpha 5 \beta 1$ を介したがん細胞増殖と造腫瘍能を促進する
14	中村 秀明	佐賀大学	Non-canonical HIF-1 α transcriptional regulatory mechanism of Notch3 in hypoxia
15	小林 稔	京都大学放生研がん細胞生物学	Molecular mechanisms underlying the crosstalk between period circadian clock 2 (PRE2) and hypoxia-inducible factor 1 (HIF-1)
16	Jolene Caifeng Ho	Cancer Science Institute of Singapore, National University of Singapore, Singapore	Hypoxia Mediates Tumorigenesis via the H3K9 Epigenetic Regulators G9A and JMJD1A
17	越川 信子	千葉県がんセンター	Nuclear localization of lactate transporter MCT4 could be a predictor of metastasis regulated by mtDNA mutation
18	和気 正樹	東京大学医学部循環器内科	心筋線維芽細胞の活性化機構と代謝機構の解明
19	安力川 真美	群馬大学大学院理工学府	細胞膜透過性を高めたレシオ酸素プローブの開発および細胞内酸素濃度計測
20	口丸 高弘	東京工業大学生命理工学院	近赤外生物発光イメージングによる生体深部組織の可視化
21	花岡 健二郎	東京大学大学院薬学系研究科	低酸素環境下で活性化する光増感剤の開発
22	平山 祐	岐阜薬科大学創薬化学大講座薬化学研究室	細胞小器官選択的鉄(II)プローブによるフェロトーシス誘導時の鉄変動解析
23	丹羽 正人	岐阜薬科大学創薬化学大講座薬化学研究室	細胞内鉄(II)イオン濃度の変動を検出できる蛍光プローブの開発
24	鈴木 萌恵	岐阜薬科大学創薬化学大講座薬化学研究室	生体内での鉄(II)イオン検出を目指した 19F-MRI プローブ分子の開発
25	赤塚 慎也	名古屋大学大学院医学系研究科・ 生体反応病理学	鉄ニトリロ三酢酸誘発腎発がんモデルにおける酸化的 DNA 損傷のゲノム内分布
26	中川 秀彦	名古屋市立大学大学院薬学研究科	可視光で制御可能なケージド HDAC 阻害剤の開発
27	川口 充康	名古屋市立大学大学院薬学研究科	Sirtuin 蛍光プローブの開発と生細胞イメージングへの応用
28	中村 俊介	群馬大学大学院理工学府	cRGD ペプチドを結合させた腫瘍集積性イリジウム錯体の合成と生体酸素プローブへの応用
29	桑村 ひかる	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 食環境安全性学	異なる低酸素濃度下でのがん細胞に対するドキシソルピシンのアポトーシス作用
30	竹中 基記	岐阜大学大学院医学系研究科 産 科婦人科学分野	低酸素の視点からみた卵巣内膜症嚢胞における鉄動態
31	長崎 幸夫	筑波大学数理物質系	酸化窒素をトリガーとする新しいがん免疫療法

17:25 ポスターディスカッション

進行：辻 美恵子

19:30 懇親会

司会：永澤 秀子

2016年11月5日(土)

8:30 開場・受付

8:45 Professor Lorenz Poellinger Memorial Symposium

座長：谷本 圭司

8:45-8:50 Introduction

Keiji Tanimoto Hiroshima University

8:50-9:10

The aryl hydrocarbon receptor repressor (AhRR) modulates tumor growth

Katarina Gradin Karolinska Institutet

9:10-9:30

Mechanism of transcriptional activation of HIF-target genes after HIF activation

Norio Suzuki Tohoku University

9:30-9:50

Hypoxia Mediated Epigenetics and Their Function in the Cell Survival Response of Cancer Cells

Kian Leong Lee Cancer Science Institute of Singapore

9:50-10:05

Mechanism of Regulation of the HIF-1 α by the von Hippel-Lindau Tumor Suppressor Protein

Keiji Tanimoto Hiroshima University

10:05 coffee break

10:15 2016年アルバート・ラスカー基礎医学賞を記念して

広田 喜一 関西医科大学

10:35 企業プレゼンテーション

進行：平山 祐

住商ファーマインターナショナル株式会社/渡邊 重明

株式会社セントラル科学貿易/鈴木 清之

タイテック株式会社/山本 章

株式会社同仁化学研究所/立中 佑希

10:47 ポスターアピール

進行：平山 祐

No.	発表者	所属	演題
32	南嶋 洋司	九州大学生体防御医学研究所細胞機能制御学部門分子医科学分野	膀胱癌細胞は間質に豊富に存在するグリコサミノグリカンを栄養源にしている
33	吉田 泰行	栗山中央病院耳鼻咽喉科	癌治療に於ける高気圧酸素治療の役割 その5
34	宇都 義浩	徳島大学大学院生物資源産業学 研究部	TrueBeam における低 LET 放射線の線量率と抗腫瘍活性の相関
35	門之園 哲哉	東京工業大学生命理工学院	腫瘍悪性化促進因子活性を中和する分子標的薬創製に向けた抗体代替分子設計
36	酒井 栞	東京工業大学生命理工学院	肺がん細胞株による休眠がん細胞標的薬剤の有効性評価
37	田中 武雄	東京工業大学生命理工学院	細胞接着性ナノデバイスの腫瘍選択的集積と封じ込め効果による新規癌治療法の開発
38	安部 元	東京大学循環器内科	圧負荷後心臓リモデリングにおけるマクロファージ低酸素シグナルの役割
39	小池 晃太	岐阜薬科大学創薬化学大講座薬化学研究室	Triostin A の新規類縁体合成と生物活性評価
40	境 崇行	岐阜薬科大学創薬化学大講座薬化学研究室	ビグアニド系がん微小環境モジュレーター的作用機序解明を目指す創薬化学研究
41	芝 一休	徳島大学大学院先端技術科学教育部物質生命システム工学専攻	Akt を標的とする低酸素指向性抗転移剤 TX-2137 及び TX-2282 の創製
42	相馬 桂	東京大学医学部循環器内科	腫瘍血管の未熟化における Flt1 陽性マクロファージの役割
43	石井 秀一	東京工業大学科学技術創成研究院 化学生命科学研究所	天然物タンシノン II A を基盤とした新規 HIF-1 α 阻害剤の開発研究
44	池田 豊	筑波大学数理物質系	低酸素部位への薬剤デリバリー手法の開発
45	加藤 愛巳	東京大学大学院循環器内科	心臓リバースリモデリング過程における心筋代謝・ミトコンドリア機能の役割
46	濱 進	京都薬科大学	微小環境応答性ドラッグデリバリーシステムの腫瘍内透過性の改善
47	中島 采香	京都薬科大学	多面的な抗癌作用を有するビタミン E 誘導体から構成されるナノ粒子による薬剤耐性の克服

11:35 ポスターディスカッション

進行：平山 祐

13:00 医療法人再生未来 ランチョンセミナー

座長：宇都 義浩(徳島大学)

脳腫瘍幹細胞における低酸素応答性、代謝不均一性と治療抵抗性

サンペトラ オルテア 慶應義塾大学医学部特任助教

14:00 次回開催案内/閉会式

14:30 岐阜駅行 バス出発